

# 平成19年度 第2回 北九州市地方独立行政法人評価委員会

## (議事要旨)

- 1 日時：平成19年7月17日(火) 14:00～15:30
- 2 場所：市役所庁舎 5階 特別会議室A
- 3 出席者：
  - 委員(五十音順)
    - ・石田委員長、片山委員、城水委員、福地委員
  - 市側
    - <総務市民局>
      - ・梅本経営企画室長、古澤経営企画室次長 他
    - <産業学術振興局>
      - ・丸山総務政策部長、川久保学術振興課長 他
    - <公立大学法人北九州市立大学>
      - ・尾上事務局副局長、本村事務局次長、江島経営企画課長、二宮総務課長、大谷管理課長 他
- 4 議題
  - (1) 北九州市立大学の平成18年度財務諸表及び決算報告について
  - (2) 北九州市立大学の平成18年度財務諸表及び剰余金の繰越承認について
  - (3) 北九州市立大学の平成18年度業務の実績について
  - (4) その他

## 5 議事（要旨）

	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">(1)北九州市立大学の平成18年度財務諸表及び決算報告について</div>
委員長	最初の議題は、北九州市立大学の平成18年度の「財務諸表」及び「決算報告」等についてです。それでは、大学からご説明いただきたいと思います。
大学	《大学より資料1～6について説明》
委員長	ありがとうございました。 委員の皆様、質問・意見等があれば、お願いします。
委員	貸借対照表の図書については、減価償却費は行わないんですか。
大学	行っていません。
委員	剰余金の考え方なんですけど、資本剰余金のマイナスがどんどん膨らんでいるんですけど、将来これに見合って資本金も膨らんで行くのでしょうか。損益内については、減価償却 戻し入れ 相殺され この分に関してはいつまでも資本金と資本剰余金のマイナスとして残ることになり、あまり見た目がよくないと思います。
委員	授業料収入が増えているという話ですが、前年度比較では1億4200万減っています。
大学	当初予算と比較して増えています。入学定員を上回る入学があったためです。昨年度も同様に定員を上回る入学があったのですが、今年度は昨年度と比較してそれほどまでには、定員を上回りませんでした。
委員	単純に前年度と比較したら、減っているということですね。
大学	そうです。
委員	教育経費が前年と比べて約6000万円増えているんですけど、特別に何かしたのですか。
大学	教員研究経費は各教員に配分して、教員が必要に応じて各自使用しています、何か特別なことをして増えたということではありません。

委員	あまりコントロールしていない状態で増えたということですか。
大学	事務局として適正な予算執行についてチェックしていますが、適正かつ予算の範囲内であれば、特別抑制はしていませんので、その結果増えたということになります。 また、ビジネススクールを開設しましたので、その分が増えております。
委員	資料6の数字と財務諸表の数字が若干異なっているのですが。
大学	資料6が現金会計ベースで表記しており、財務諸表が発生主義ベースで表記しています。
委員	受託研究収入が減っていますが、何か特別な理由がありますか。
大学	受託研究については、大学内部で努力目標を設けて行っていますが、決算が予算を上回ることが出来ませんでした。ちなみに外部研究資金全体では、前年度は4億6100万円で、今年度は4億7200万です。実績では若干増加しています。
委員	資料6の検定料収入が志願者の減となっておりますが、別の資料では増えていたと思うのですが。
大学	(資料6は、当初予定より少なかったということです。)実際の志願者は18年度に比べ19年度は増えています。17年度に比べ18年度は減っていて、18年度に比べ19年度は増えています。
委員	大学の収入は、学生からの授業料と市からの交付金と外部資金の3つに分けられると思うのですが、外部資金を今後増やすために数値目標を設けたりはしないのですか。
大学	中期計画では、総額で5億円程度を確保するとしております。外部資金をいかに増やすかが課題です。
委員	予算に比べて決算額がずいぶん下回っており、未執行額がかなりありますが、年度計画や中期計画が順調にこなされているのかという見方もありますし、順調に実施してなおこれまで未執行が出るということは、予算の立て方が甘いという見方もできます。具体的には、受託研究等収入は予算の半分し

	<p>か実績がなかったんですが、予算段階でやや希望値が入っているということではないでしょうか。</p>
<p>大 学</p>	<p>資料7を見ていただくと、剰余金の発生理由で一番大きいのは、イの教員人件費の抑制です。これは教員の定数で予算を計上していますが、平成19年度以降の学部・学科の再編を踏まえて教員の採用を控えました。アの収入については、学生定数で予算を計上しています。ウの支出抑制分の約1億円ですが、半分は経費節減分で、残り5000万円が執行残ということになります。これは大学全体の経費から見て1～2%です。</p>
<p>委 員</p>	<p>受託研究は減って、受託事業は増えていますが、受託研究よりも受託事業として受け入れたほうがよいといったことはあるのですか。</p>
<p>大 学</p>	<p>そういったことはありません。(財)北九州都市協会を受け入れ、都市政策研究所を新設し調査研究事業を積極的に行ったことにより、受託事業が増加しました。</p>
<p>委 員</p>	<p>キャッシュフロー計算書によると投資活動のところの利息及び配当金の受取額が少ないのですが、例えば今年の剰余金の3億8000万円を積み立てましたが、それについて投資活動は行わないのですか。</p>
<p>大 学</p>	<p>大学の運営活動に支障がない範囲で、一部、国債を購入し運用をしています。</p>
<p>委 員</p>	<p>退職金の積み立てはしていますか。</p>
<p>大 学</p>	<p>していません。</p>
<p>委 員</p>	<p>自由に投資活動ができるのは、剰余金として積み立てたものだけですね。民間の場合は、いろんなことをやっていますが、特に独立行政法人として独立してやるんだということであれば、スタッフを充実して力を入れる必要があるのではないのでしょうか。</p>
<p>大 学</p>	<p>地方独立行政法人法では、企業のように投資信託など株を買うという活動が禁止されています。国債や銀行預金など法律で定められた範囲では行っています。また、運営費交付金については、一度に交付されるわけではないので、投資活動を行えるほど資金に余裕があるわけではありません。</p>

委員	授業料収入や検定収入は最初に入るのではないですか。
大学	その分については、国債を購入や定期預金を行っています。 国立大学法人については、借り入れも含めて資金運用するようになっていますが、地方独立行政法人では、資産運用に関する自由度は低くなっています。
委員	学生定員は、1.2 までいっていないのですか。
大学	全体で言うと 118% です。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>(2) 北九州市立大学の平成 18 年度財務諸表及び剰余金の繰越承認について</p> </div>	
委員長	他に質問等はありませんか。それでは、次の議題に進みます。 平成 18 年度における「北九州市立大学の財務諸表及び剰余金の翌年度繰越承認」についてです。 それでは、産業学術振興局から、ご説明いただきたいと思います。
産学局	《産業学術振興局より資料 7 ～ 10 について説明》
委員長	ありがとうございました。 委員の皆様、質問・意見等があれば、お願いします。
委員	授業料収入が減り、運営費交付金が増えて、剰余が出るというのは、運営費交付金が利益財源となっているのではないのでしょうか。収入と支出の見合いの関係が明らかでなくセグメント別になっていないので、どこから収益が生まれているのかが見えず、厳密にはそう言えないのですが。
産学局	基本的には国立大学の剰余金の認定基準に準拠しております。一つは授業料収入の増加、一つは経営努力によるものです。たしかにセグメントで対応する記載となっていません。
委員	17 年度は初年度で余ったんだからどこかで利益が出たのだろうとしか分からなかったんですが、今年度は前年度と比較できますからね。企業の場合は予算と決算の比較というより、経年比較でしか見ないのですが、売り上げが上がっていないのに経費が増えていくというのはあまりいい傾向でないと言えます。

委員	<p>予算と決算の比較だけでなく、前年度との比較は出来ないのですか。評価委員会としての意見は4回目を予定していますので、それまで資料を提出いただけないでしょうか。</p>
大学	<p>剰余金は主に二つの理由で発生したということはよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>去年と今年で剰余金の額はほとんど変わっていないんですが、授業料収入が2億円近く減っていて、運営費交付金は約1億2000万増えているということは、運営費交付金が底上げされたと言えるのではないのでしょうか。</p>
大学	<p>一度、整理させてください。</p>
委員長	<p>ぜひ、次回までに整理をお願いします。</p>
	<p>(3) 北九州市立大学の平成18年度業務の実績について</p>
委員長	<p>では、次の議題に移ります。          前回に引き続き、北九州市立大学における平成18年度業務の実績についてです。それでは、大学からご説明いただきたいと思います。</p>
大学	<p>《大学より基盤教育センター、大学ランキング(別紙資料)について説明》</p>
委員長	<p>ありがとうございました。          委員の皆様、ご質問等ありましたら、お願いします。</p>
委員	<p>第2外国語の専任教員はどのくらいいますか。クラス数はどのくらいありますか。北九大の場合はアジアとの交流が盛んですので、中国語・朝鮮語のクラスが多いのではないですか。</p>
大学	<p>基盤教育センターにも専任の教員がおりますが、外国語学部の中に中国語、学科がありますので、そちらに専任教員が多数おります。</p>
委員	<p>我々の時代は、ドイツ語・フランス語がメインでしたが、中国語・朝鮮語にシフトすると教員の配置が難しいことがあります。</p>
委員	<p>語学は北九大が力を入れている分野ですが、どの程度優れているのか分かりにくいので、何か評価できるものはないですか。</p>

大 学	<p>学生がスピーチコンテストで表彰されているということはあります。もう一つは外国語学部の入試の偏差値のレベルが高いということもあります。</p>
委 員	<p>例えば、TOEIC や TOEFL で何点以上の学生が何人いるといった資料はありませんか。</p>
大 学	<p>現時点では把握できておりません。</p>
委 員	<p>19 年度から 21 年度までで英語の開講科目が増えていますが、他の大学と比べてどうなのでしょう。</p>
大 学	<p>英語の科目がこれだけあるところはそんなに多くないと思います。</p>
委 員	<p>北九大は語学というけれど、今一つわからないというのが一般の評価ではないでしょうか。そこが残念といえば残念ですね。</p>
大 学	<p>もし、お示しできるものがあれば、お示ししたいと思います。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>( 4 ) その他・今後の日程について</p> </div>	
委 員 長	<p>他に質問等はありませんか。  (質問等がなければ)では、次の議題に移ります。  今後の日程について、事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>次回の委員会は、7月30日(月)14:00からこの会議室ということでお願いします。  前回の委員会でもお願いしたとおり、委員の皆様のご意見等を評価調書にご記入いただき、7月20日、今週の金曜日までに事務局必着にて、ご送付いただきますようお願いいたします。  次回の委員会では、皆様のご意見を一覧表にして、評価内容を調整していただきたいと思います。  なお、次回、大学と産学局は出席しない予定としておりましたが、委員長とも相談しまして、調整させていただきたいと思います。</p>
委 員 長	<p>先ほどの件について、場合によってはご説明いただくか、資料をいただくか、お願いしたいと思います。  それでは、本日の委員会はこれで終了します。</p>